

宮城県色麻町  
持続可能な未来をつくる、色麻のいま。

# しかま支え合い 情報誌

2024.04.01

Vol.

18

April, 2024

第 18 号  
隔月 1 日発行

50



特集

## 歴史を刻む 男のサロン



## 貴重な情報交換の場

紡いできた記憶と歴史が

地域の未来をつくる

In  
平沢

HIRASAWA



毎朝、火を囲んで、コーヒーを飲みながら語り合います。

毎朝休まず  
男たちの憩いの場

毎朝男の人たちが集まるサロンがあると聞いて、平沢地区に取材にきました。まだ薄暗い早朝六時、サロン会場に伺うと、「お！早いね」と火を起こしながら出迎えてくれたのは、平沢地区の鈴木栄紀区長さん。煌々と揺れる火を囲みながら、皆さんで談笑されています。「コーヒーどうぞ」缶コーヒーを差し出してくれたのは、会員の猪股三男さん。このサロンの会員の皆さんは、毎朝ここで暖を取っ



↑世間話から農業の話まで様々な話をします。

いつしか貴重な  
情報交換の場

て、コーヒーを飲みながらいろいろな話をするのが、毎日のルーティンになっています。「ドカ雪が来て、雪掻きとかがなければ、三六五日毎朝やってるからね」と、話すのは佐々木清企さん。そんな話をしていると、一台の車が停まりました。やってきたのは新聞屋さん。配達途中に温まりに来たそうです。「毎朝やってますからね、ありがたいです」と話しながらあったまると、また残りの配達に出かけていきました。「やっぱり火があると集まるんだね」と区長さん。

「誰が入院したとか、亡くなったとか、どこかの田んぼがどうなったとか、ここで知ることが多い。貴重な情報交換の場になってるよ」と、区長さんは話します。「ここで聞かないと、知らないでいることもあるからね」。

「夏はここでバーベキューもするよ。コンロのサイズに合わせて食材買ってくるもんだから、いつも食いきれないんだよ(笑)」と、清企さんは笑いながら話していました。

元旦も休まず続けた。元旦も休まず続けた。きたことで、様々な活動が生まれてきました。



↓男性は老いも若きも火を見るのが好き。





## 何十年と共有されてきた記憶 地域の貴重な財産に

「集団就職でずっと東京に住んで、帰って来たのが二十三年前。その時にはもうこれがあつたから、もう二十年以上になるんでしょうね」と話すのは三男さん。二十年以上もの間、毎朝、皆さんが集まって世間話をしていると、様々な思い出や記憶が共有されていきます。取材した日は、ちょうど三月十一日。十三年前の日の話題にもなりました。誰から

ともなく、あれは金曜だったね、と曜日まではつきりと記憶されていました。毎朝この場で語り継がれてきたものは、いいことも悪いことも、全ての地域の歴史の一ページとして蓄積されてきました。積み重ねた歴史が、地域の未来を創っていきます。下の世代も着実に入ってきているこの会。今後も脈々と続いてほしいです。



冬にはありがたい火の温もり。



コーヒーを飲む憩いの時間。



ちょうど火が消える頃に終了します。



サロン会場の外観。

## Information

【生活支援コーディネーターからのお知らせ】

### あなたにとってのお宝はなんですか？

#### 皆さんの活動・地域の情報をお寄せください！ 生活支援コーディネーターが伺います(˘-˘) /

しかま支え合い情報誌は、「介護予防の特効薬は社会参加である」という考えのもと、元気な高齢者はもちろん、支援や介護が必要になっても自分らしく地域の中で暮らし続けられ、社会参加ができる地域を、地域住民が主体になってつくっていくことを目的として発行しています。

この目的を達成するためには、お住まいの地域での居場所・集える場所の確保・創出が必要です。そんな場所やつながりを私たちは「お宝」と呼んでいます。支え合い情報誌は、この町にあるお宝を探して紹介していく情報誌です。皆さんにとってのお宝の情報をぜひお寄せください。

生活支援体制整備事業は、地域のお宝を応援してまいります！



#### 私たちのお宝はデイサービスです！

デイサービスの仲よし4人組の皆さん。「デイサービスはみんなと話せるし、楽しい行事もあって、心も踊ります。温泉付きの別荘みたいで、私にとっての宝物です」と話していました。ありがとうございます！



# しかま支え合い掲示板

## JA加美よつば ハンバーグ手作り体験会 開催

令和6年2月28日（水）、ふれあい食堂にて、JA加美よつばの皆さんのご協力による「ハンバーグ手作り体験会」が開催されました。ふれあい食堂に参加している子どもたちを対象に、ハンバーグ作りを体験してもらおうという企画です。ハンバーグは、子どもたちも大好きとあって、参加した子どもたちは楽しそうに、思い思いの形にハンバーグをこねていました。食事の時には、自分で作ったハンバーグを美味しくように頬張っていました。

今回のふれあい食堂では、ハンバーグの食材だけでなく、米や野菜などの食材もJA加美よつば様より、無償でご提供いただきました。当事業に対するあたたかいご理解とご協力、心より感謝申し上げます。



## 加美農高にて 飾り巻き寿司講習会 開催

令和6年2月9日（金）、宮城県加美農業高等学校にて「飾り巻き寿司講習会」が開催されました。飾り巻き寿司とは、巻き寿司の断面に花などの絵柄を表現した寿司のことです。お祝いやパーティーなどの特別な日に華やかさを添える料理として人気があります。この日は、生活技術科2年生の皆さんが、農業科1年生の皆さんへ作り方を伝授しました。飾り巻き寿司の作り方は、色付けした寿司飯や具材を海苔で巻いて、パーツを作り、それらを組み合わせて巻くという手順になります。繊細な作業に四苦八苦しながらも、先輩たちから丁寧に指導され、最後はきれいな花柄に仕上がっていました。日本の伝統的な料理が若い人たちにも受け継がれています。



## しかま支え合い情報誌 vol.18

発行：社会福祉法人色麻町社会福祉協議会

〒981-4122 宮城県加美郡色麻町四竈字杉成 27-2

TEL：0229-65-2260 FAX：0229-66-1713

E-mail：shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp

URL：http://www.shakyo.or.jp/hp/287/

生活支援体制整備事業は、介護保険制度の地域支援事業の一つです。  
しかま支え合い情報誌は、色麻町生活支援体制整備事業の一環として発行しています。